

取扱説明書

TD-02

DRUM SOUND MODULE



目次

ドラムについて知ろう.....	2
ドラム・セットの構成.....	2
ドラム奏法の基本.....	3
クイック・スタート.....	5
各部の名称とはたらき.....	5
周辺機器を接続する.....	6
電源を入れる／切る.....	6
演奏する.....	7
ドラム・キットを選ぶ.....	7
メトロノームに合わせて叩く.....	7
コーチ・モードで練習する (COACH).....	8
練習メニューを選ぶ.....	8
ビートに合わせて正確に叩く (TIME CHECK).....	8
身体でテンポを覚える (QUIET COUNT).....	9
テンポの変化に合わせて叩く (AUTO UP/DOWN).....	9
リズムの変化に合わせて叩く (CHANGE UP).....	10
モバイル機器の曲に合わせて演奏する.....	11
MIX IN 端子にケーブルを接続する場合.....	11
Bluetooth 無線接続をする場合.....	11
BT-DUAL を取り付ける.....	11
モバイル機器とワイヤレスで接続して音を聞く.....	11
Bluetooth 機能を無効にする.....	12

パソコンやモバイル機器のアプリと連携して使う.....	13
パソコンのソフトウェアと連携して使う.....	13
モバイル機器のアプリと連携して使う.....	13
詳細設定をする.....	14
パッドの設定をする.....	14
MIDI の設定をする.....	19
システムの設定をする.....	19
バージョン情報を表示させる.....	20
工場出荷時の設定に戻す.....	20
ドラム・キット・リスト.....	21
故障かな?と思ったら.....	22
安全上のご注意.....	24
使用上のご注意.....	24
主な仕様.....	25

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.24））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

ドラムについて知ろう

ドラム・セットの構成

ドラム・セットの基本的な用語を説明します。

バス・ドラム／キック・ペダル

バス・ドラムは、ドラム・セットの中で最も大きなドラムです。キック・ペダルを踏んで演奏します。

スネア

ドラム・セットの中で音の中心となるドラムです。

ハイハット／ハイハット・ペダル

2枚のシンバルが上下対になっています。ハイハット・ペダルを踏むことで、ハイハットのオープンやクローズができます。

※ TD-02KV(例)では、シンバル・パッド1枚です。

タム (タム 1、タム 2)

通常、バス・ドラムの上に設置します。

フロア・タム (タム 3)

バス・タムと呼ばれることもあります。床に設置します。

ライド

リズムの基本的なビートを刻みます。通常右側に設置します。

クラッシュ

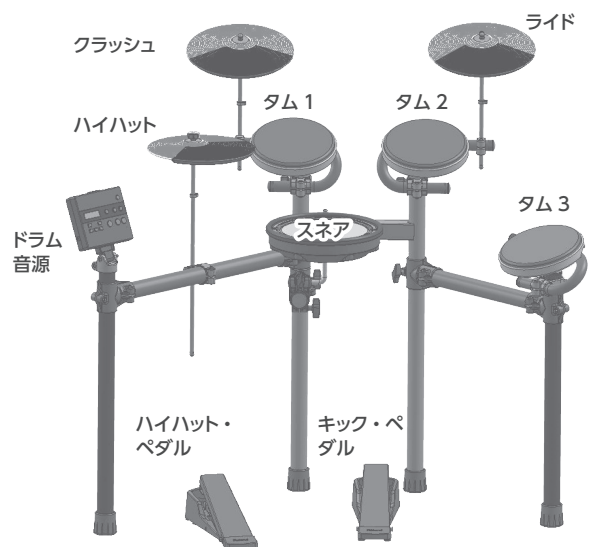
ライドより小さなシンバルで、強いアクセントをつけるときに使います。

※ TD-02KV(例)では、ライドと同じサイズです。

アコースティック・ドラム



例：TD-02KV



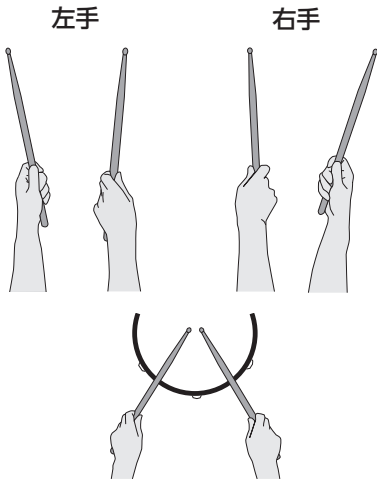
ドラム奏法の基本

ドラム・セットは、両手、両足を使って演奏します。

ここではスティックの持ちかたやドラムの叩きかた、ペダルの踏みかたなどを紹介します。

スティックの持ちかた

最も一般的な「マッチド・グリップ」を紹介します。

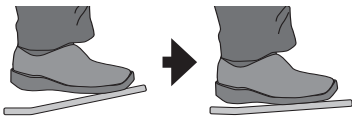


キック・ペダルの踏みかた

キック・ペダルには「ヒール・アップ奏法」と「ヒール・ダウン奏法」の2種類の踏みかたがあります。

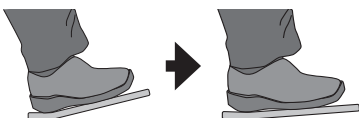
ヒール・アップ奏法

かかとを浮かせてキック・ペダルを踏む奏法です。かかとを上げた状態から脚全体を落とすようにペダルを踏みます。脚全体の重みをペダルに掛けることができるので、ヒール・ダウンより強い音が出しやすくなります。ロックやポップスで多用されます。



ヒール・ダウン奏法

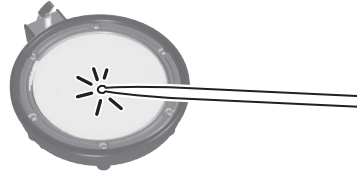
かかとからつま先まで、キック・ペダルにべったりとつけて踏む奏法です。くるぶしの関節を使ってつま先でペダルを踏みます。繊細な音量のコントロールがしやすく、ジャズやボサノバなどで多用されます。



スネアの奏法

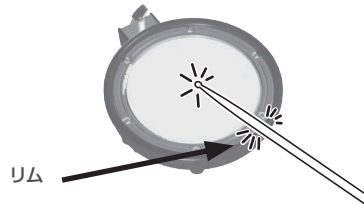
ヘッド・ショット

パッドの打面を叩く、最も一般的な奏法です。



リム・ショット (TD-02KVのみ)

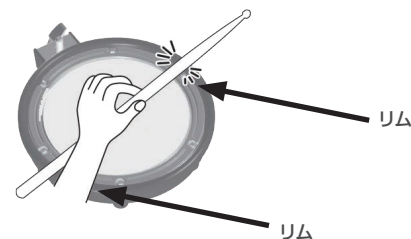
ヘッドとリムを同時に叩きます。ヘッド・ショット時とは異なる音色（リム音色）が鳴ります。



クロス・スティック奏法 (TD-02KVのみ)

リムのみを叩きます。

スネアのリム音色では、リムを叩く強さによってリムの音色が切り替わります。弱く叩くとクロス・スティックの音、強く叩くとリム・ショットの音が鳴ります。



→ クロス・スティック奏法を使う場合は、XStickSens (P.14) を「OFF」以外に設定してください。

※ クロス・スティック奏法で演奏するときは、ヘッドに手を置かないでください。ヘッドに手を置くとクロス・スティック奏法ができない場合があります。

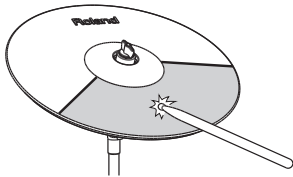
※ 専用接続ケーブルの「SN」に接続したパッドのみ有効です。

ドラムについて知ろう

シンバルの奏法

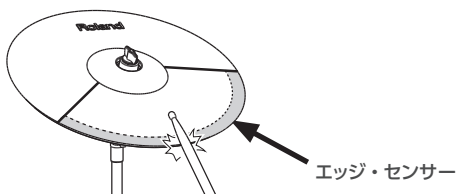
ボウ・ショット

シンバルの打面を叩く、最も一般的な奏法です。



エッジ・ショット

シンバルの端をスティックのショルダーで叩く奏法です。
(図のエッジ・センサーの位置を叩きます。)



※ ハイハットでも、ボウ・ショット、エッジ・ショットが可能です。

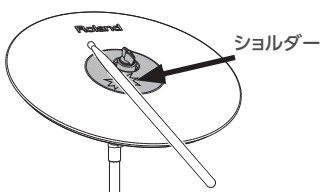
ベル・ショット (ライドのみ)

ベルを叩く奏法です。

※ ライド・3 ウェイ・トリガーに対応したパッドを使用してください。

※ CR2Usage (P.14) を「RDB」に設定してください。

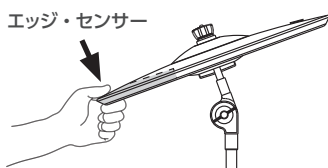
※ スティックのショルダーで、やや強く叩いてください。



チョーク奏法

シンバルを叩いたあとにエッジ付近を手でチョークする(つかむ)と、音が止まります。

※ 図のエッジ・センサーの位置を手でチョークしてください。センサーのない部分をチョークしても音は止まりません。



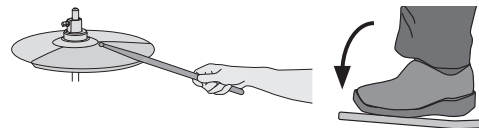
ハイハットの奏法

アコースティック・ドラムは、ハイハット・ペダルを操作して2枚のシンバルを開閉できます。

ハイハット・ペダルを踏み込むと、2枚のシンバルが密着した状態(クローズ)になります。ハイハット・ペダルを離すと、2枚のシンバルが離れた状態(オープン)になります。

クローズ

ハイハット・ペダルを強く踏み込んだ状態で、パッドをスティックで叩きます。「チツ」と短い音になります。



ハーフ・オープン

ハイハット・ペダルを弱く踏んだ状態で、パッドをスティックで叩きます。「チー」と少し長い音になります。



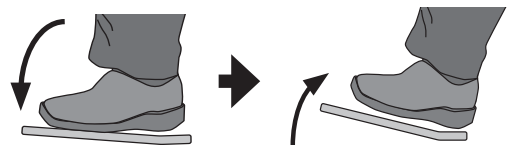
フット・クローズ

スティックを使わずハイハット・ペダルだけを踏み込みます。クローズより柔らかな短い音になります。タイトな音で、リズム・キープに有用です。

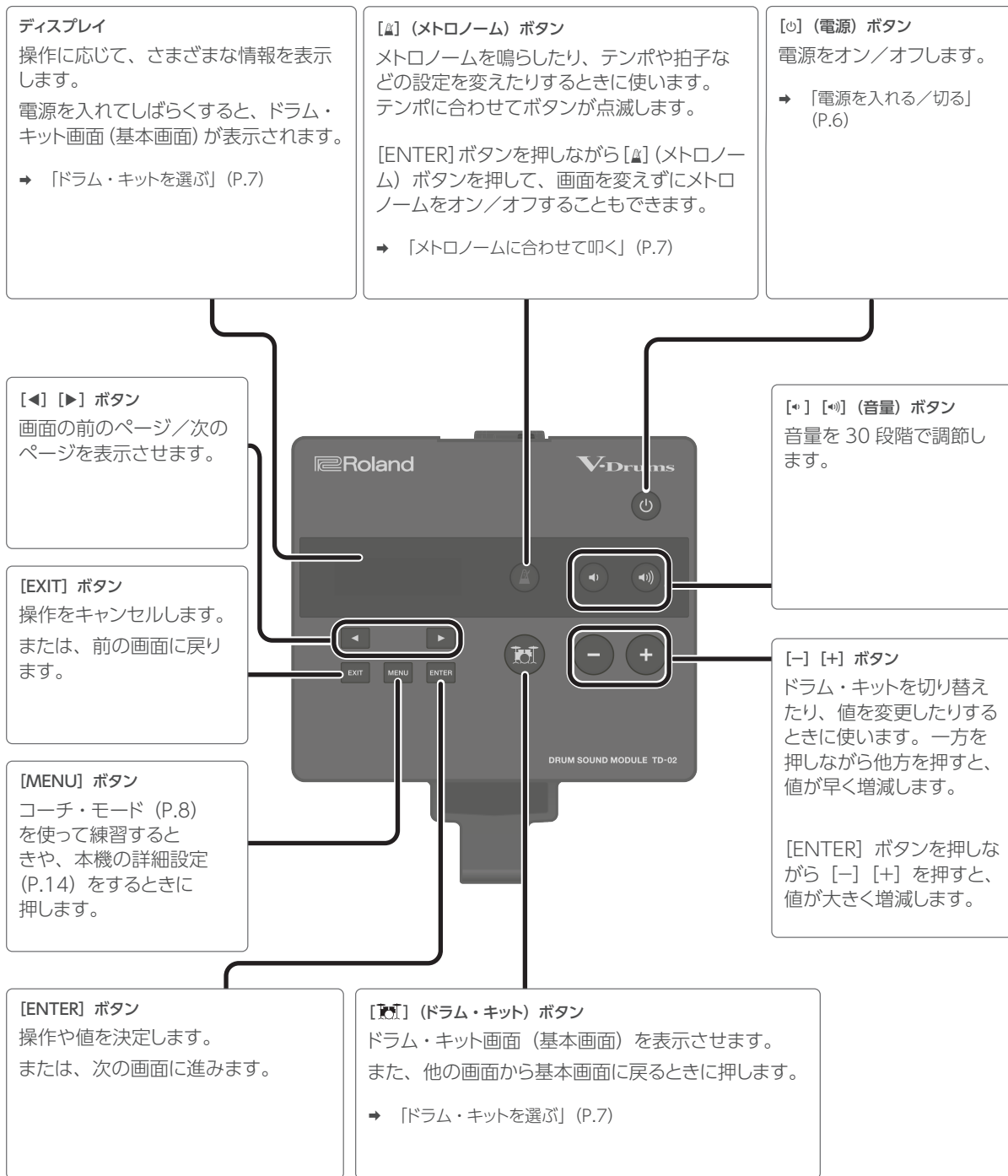


フット・スプラッシュ

スティックを使わずハイハット・ペダルを蹴る要領で、踏み込まずにすぐに足を離します。アコースティックのハイハットで2枚のシンバルを瞬間的にぶつける状態です。オープンより柔らかな音で長い音になります。

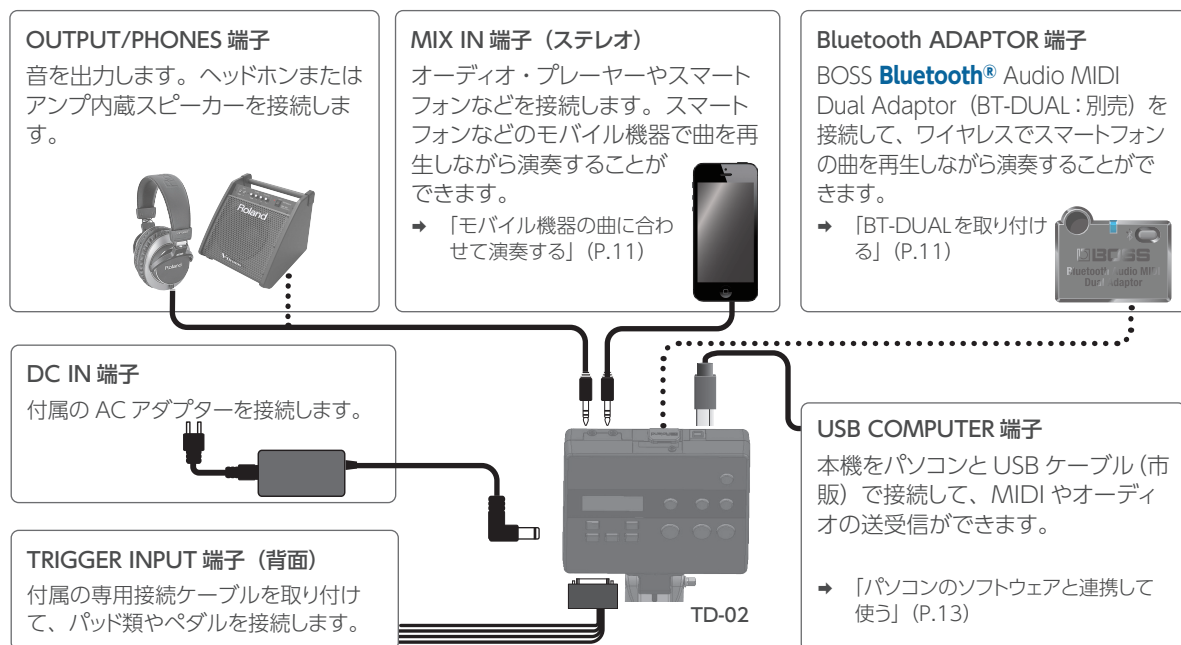


各部の名称とはたらき



周辺機器を接続する

- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- ※ ドラム音源ホルダーを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用するときは、必ず大人のかたが監視／指導してください。



電源を入れる／切る

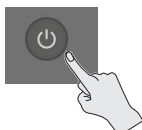
電源を入れる

1. 本機にヘッドホン、またはアンプ内蔵スピーカーを接続します。

- ※ アンプ内蔵スピーカーを接続した場合は、アンプ内蔵スピーカーの音量を最小にします。
- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

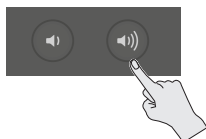
2. [⏻] (電源) ボタンを押します。

本機の電源が入ります。



3. アンプ内蔵スピーカーを接続した場合は、アンプ内蔵スピーカーの電源を入れ、音量を調節します。

4. 本機の [🔊] [🔊] (音量) ボタンで音量を調節します。



電源を切る

1. 本機にアンプ内蔵スピーカーを接続した場合は、アンプ内蔵スピーカーの音量を最小にして電源を切ります。

2. 本機の [⏻] (電源) ボタンを長押しします。

本機の電源が切れます。

- ※ 必ず [⏻] (電源) ボタンを長押しして、電源を切るようにしてください。電源コードが抜けて電源が切れた場合は、設定が保存されません。

オート・オフ機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (オート・オフ機能)。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください (P.19)。

注意

- 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

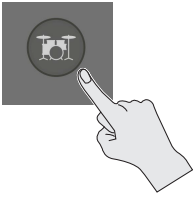
演奏する

ドラムは叩けば音が出る、誰にでも簡単に始められる楽しい楽器です。内蔵されているさまざまな音色で、ドラムの演奏を始めてみましょう。

ドラム・キットを選ぶ

「ドラム・キット」とは、各パッドに音色が割り当てられたセットのことです。

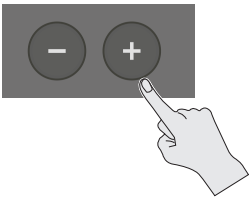
1. **[🥁]** (ドラム・キット) ボタンを押します。



ドラム・キット画面が表示されます。



2. **[-] [+]** ボタンで、ドラム・キットを選びます。



→ 「ドラム・キット・リスト」 (P.21)

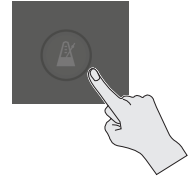
3. **パッドを叩いて、演奏します。**

メトロノームに合わせて叩く

メトロノームを鳴らして、演奏することができます。

1. **[🎵]** (メトロノーム) ボタンを押します。

メトロノームがオンになり、メトロノームのテンポに合わせてボタンが点滅します。



メモ

[ENTER] ボタンを押しながら **[🎵]** (メトロノーム) ボタンを押すと、画面を変えずにメトロノームをオン/オフすることもできます。

2. もう一度 **[🎵]** (メトロノーム) ボタンを押して、メトロノームを止めます。

メトロノームの鳴らしかたを変える

1. メトロノーム画面で、**[◀] [▶]** ボタンを使って設定したい項目 (パラメーター) を選びます。
2. **[-] [+]** ボタンで、値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	ON, OFF	メトロノームのオン/オフを切り替えます。
Tempo	20 ~ 260 (bpm)	テンポを設定します。
Level	-INF ~ +6.0dB	音量を設定します。
Beat	1 ~ 9 (拍子)	拍子を設定します。
Rhythm	♪ (2 分音符)	リズム・タイプを設定します。
	♪ (4 分音符)	
	♪ (8 分音符)	
	♪ (8 分 3 連符)	
Pan	L30 ~ CENTER ~ R30	定位を設定します。
Sound	TYPE1 ~ TYPE15	音色パターンを設定します。
LED Sync	ON, OFF	テンポに合わせて [🎵] (メトロノーム) ボタンを点滅させるかどうかを設定します。

3. **[🥁]** (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・キット画面に戻ります。

コーチ・モードで練習する (COACH)

本機は、練習の効果を最大限に引き出す「コーチ・モード」を搭載しています。4つのメニュー「TIME CHECK」「QUIET COUNT」「AUTO UP/DOWN」「CHANGE UP」があり、スピードのコントロール能力や、精度、持久力を鍛え、タイミングをうまくとる練習ができます。

練習メニューを選ぶ

1. [MENU] ボタンを押します。
2. [◀] [▶] ボタンで「COACH」を選び、[ENTER] ボタンを押します。



3. [◀] [▶] ボタンで練習メニューを選び、[ENTER] ボタンを押します。

練習メニューの内容については、次項をご覧ください。

ビートに合わせて正確に叩く (TIME CHECK)

メトロノームに合わせて、正確にタイミングよく叩く練習です。

1. TIME CHECK 画面で、[ENTER] ボタンを押して練習を開始します。

スタートすると2小節のカウント・インが入ります。

メモ

練習を途中で終了するときは、[EXIT] ボタンを押します。

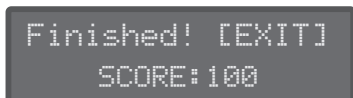
2. メトロノームに合わせて、パッドを叩きます。

パッドを叩いたタイミングが、メトロノームに合っているかどうかを、画面に表示します。



設定した小節数が経つと終了し、打撃タイミングが評価されます。

※ 針が枠から左の場合は打撃タイミングが早過ぎで、針が枠から右の場合は打撃タイミングが遅いことを表しています。



※ 叩いたタイミングが大きくズれると、正確に判定できないことがあります。

メモ

練習中に [-] [+] ボタンを押すことでメトロノームのテンポを変更できます。

3. [EXIT] ボタンを押して、終了します。

TIME CHECK の設定をする

評価するパッドや採点する小節数などを変更することができます。

1. TIME CHECK 画面で、[◀] [▶] ボタンを使って設定したい項目 (パラメーター) を選びます。
2. [-] [+] ボタンで、値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Score		採点の結果を、画面に表示させるかどうかを設定します。
	OFF	採点しません。タイミングのチェックだけをします。
	4、8、16、32 (小節)	採点の結果を画面に表示します。採点する小節数を設定します。
Grade		採点基準を設定します。
	EASY	標準
	HARD	より厳しくタイミングをチェックします。
PAD	KIK、SNR、TOM、HH、RID、CYM	評価に使用するパッドを選びます。
Tempo	20 ~ 260 (bpm)	テンポを設定します。

3. [🥁] (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・キット画面に戻ります。

身体でテンポを覚える (QUIET COUNT)

身体でテンポを覚えるための練習です。
最初の数小節はメトロノームが鳴りますが、次の数小節は鳴りません。停止するまで、この周期を繰り返します。

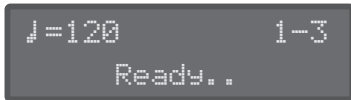
1. QUIET COUNT 画面で、[ENTER] ボタンを押して練習を開始します。

メモ

練習を途中で終了するときは、[EXIT] ボタンを押します。

2. メトロノームに合わせて、パッドを叩きます。

最初の数小節はメトロノームが鳴ります。メトロノームが鳴る最後の小節になると、画面に「Ready..」と表示されます。



メトロノームが鳴り終わると、画面の表示が「QUIET!!」に変わります。この間もパッドを叩き続けます。



QUIET 区間のあと、打撃タイミングが評価されます。



メモ

練習中に [-] [+] ボタンを押すことでメトロノームのテンポを変更できます。

3. [EXIT] ボタンを押して、終了します。

QUIET COUNT の設定をする

メトロノームを鳴らす小節数と鳴らさない小節数などの設定をします。

1. QUIET COUNT 画面で、[◀] [▶] ボタンを使って設定したい項目 (パラメーター) を選びます。

2. [-] [+] ボタンで、値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Measures	2、4、8、16 (小節)	「メトロノーム発音」と「QUIET」の繰り返し区間の長さ (小節) を設定します。
Quiet		Measures で設定した小節のうち、QUIET にする小節の長さを設定します。
	RANDOM	QUIET の区間が毎回ランダムに設定されます。
Tempo		設定した長さが QUIET 区間に設定されます。 ※ Measures で設定した値の半分より大きい値を設定することはできません。
	1、2、4	
Tempo	20 ~ 260 (bpm)	テンポを設定します。

3. [▶] (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・キット画面に戻ります。

テンポの変化に合わせて叩く (AUTO UP/DOWN)

持久力を高める練習です。メトロノームのテンポを徐々に上げ下げします。テンポが 1 ずつ上がっていき、テンポの上限值になったらテンポが 1 ずつ下がって最初のテンポに戻ります。このテンポ変化を繰り返します。

1. AUTO UP/DOWN 画面で、[ENTER] ボタンを押して練習を開始します。

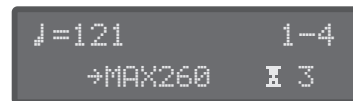
スタートすると 2 小節のカウント・インが入ります。

メモ

練習を途中で終了するときは、[EXIT] ボタンを押します。

2. メトロノームに合わせて、パッドを叩きます。

画面右下に残り時間が表示されます。



※ Auto Up/Down では、現在のテンポは変更できません。

※ 現在のテンポ設定値が、テンポ下限値になります。

設定した時間が経つと終了し、打撃タイミングが評価されます。



3. [EXIT] ボタンを押して、終了します。

コーチ・モードで練習する(COACH)

AUTO UP/DOWN の設定をする

練習時間の長さ、テンポの上限値／下限値を設定します。

1. AUTO UP/DOWN 画面で、[◀] [▶] ボタンを使って設定したい項目 (パラメーター) を選びます。

2. [-] [+] ボタンで、値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Duration	時間を選びます。	
	1、3、5、10、15 MIN	練習の所要時間 (分) を選びます。
MaxTempo	21 ~ 260 (bpm)	テンポの上限値を設定します。 ※現在の Tempo より大きい値にしか設定できません。
Tempo	20 ~ 260 (bpm)	テンポの下限値を設定します。

3. [🥁] (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・キット画面に戻ります。

リズムの変化に合わせて叩く (CHANGE UP)

メトロノームのリズム・タイプが 2 小節ごとに変化していきます。2 分音符から始まって徐々に音符が細かくなっていき、また 2 分音符まで戻るといったリズムの変化を繰り返します。

1. CHANGE UP 画面で、[ENTER] ボタンを押して開始します。

スタートすると 2 小節のカウント・インが入ります。

メモ

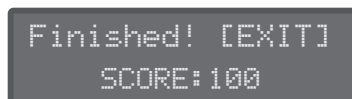
練習を途中で終了するときは、[EXIT] ボタンを押します。

2. メトロノームに合わせてパッドを叩きます。

練習中は画面にテンポとリズム・タイプが表示されます。また、画面右下に残り時間が表示されます。



設定した時間が経つと終了し、打撃タイミングが評価されます。



メモ

練習中に [-] [+] ボタンを押すことでメトロノームのテンポを変更できます。

3. [EXIT] ボタンを押して、終了します。

CHANGE UP の設定をする

練習時間の長さ、テンポを設定します。

1. CHANGE UP 画面で、[◀] [▶] ボタンを使って設定したい項目 (パラメーター) を選びます。

2. [-] [+] ボタンで、値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Duration	時間を選びます。	
	1、3、5、10、15 MIN	練習の所要時間 (分) を選びます。
Tempo	20 ~ 260 (bpm)	テンポを設定します。

3. [🥁] (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・キット画面に戻ります。

モバイル機器の曲に合わせて演奏する

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器で再生する曲に合わせて、ドラム演奏を楽しむことができます。

MIX IN 端子にケーブルを接続する場合

1. 市販のステレオ・ミニプラグ・ケーブルを使って、本機の MIX IN 端子にモバイル機器を接続します (P.6)。
2. モバイル機器の曲を再生します。
3. 曲の音量を、モバイル機器側で調節します。

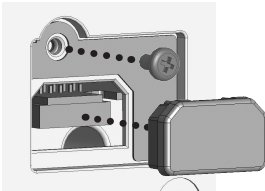
Bluetooth 無線接続をする場合

BT-DUAL を取り付ける

本機に別売りの BT-DUAL を取り付けることで、ワイヤレスでモバイル機器の音楽を再生できます。

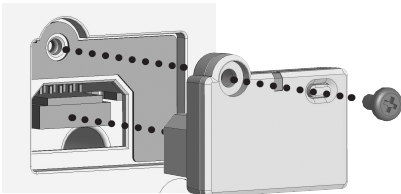
※ 本機自体には、Bluetooth 機能は搭載されていません。別売りの BT-DUAL を取り付けることで、Bluetooth 機能を使用することができます。

1. 本機の電源を切って、AC アダプターをコンセントから抜きます。
2. 天面にある、Bluetooth ADAPTOR 端子のカバーとネジをはずします。



3. BT-DUAL を取り付け、手順 2 ではずしたネジで固定します。

必ず TD-02 側のねじ穴と BT-DUAL 側のねじ穴が合うように取り付けてください。



注意

- 必ず Bluetooth ADAPTOR 端子にあるネジを使ってください。他のネジを使うと故障の原因になります。
- 回路部や端子部には手を触れないでください。
- 取り付けを終わったら、正しく取り付けられていることを再度確認してください。
- BT-DUAL を取りはずすときは、電源を切ってください。

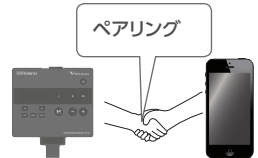
モバイル機器とワイヤレスで接続して音を聞く

Bluetooth® オーディオ機能

Bluetooth オーディオ機能をもったモバイル機器で再生した音楽やミュージック・ビデオを、本機で聞くことができます。

モバイル機器を登録する (ペアリング)

モバイル機器と本機を Bluetooth 無線接続をするには、モバイル機器に本機を登録する (お互いを認証する) ための「ペアリング」が必要です。



ここでは、例として iPhone を使った設定方法を紹介します。

※ 本機とのペアリングが済んだモバイル機器は、再度ペアリングする必要はありません。「ペアリング済みのモバイル機器を接続する」(P.12) の手順をご覧ください。

※ モバイル機器によっては接続されないことがあります。

1. 本機の電源を入れます。
2. 接続したいモバイル機器を、本機周辺に置きます。
3. Bluetooth インジケーターが高速点滅するまで、BT-DUAL のペアリング・ボタンを長押しします。

Bluetooth
インジケーター



モバイル機器の曲に合わせて演奏する

4. モバイル機器の設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



注意

モバイル機器の Bluetooth 設定に表示されている「TD-02 MIDI」をタップしないでください。タップした場合は、いったんデバイス登録を解除して手順 1 からやり直してください。

メモ

操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

5. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「TD-02 AUDIO」をタップします。

BT-DUAL とモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが完了すると、モバイル機器の「ペアリングされた機器」リストに「TD-02 AUDIO」が追加されます。

※ 一定時間ペアリングを実行しないと、Bluetooth インジケーターが消灯しペアリング待機状態が解除されます。

モバイル機器の曲を再生する

注意

非常に大きい音で再生される場合があるため、あらかじめモバイル機器側の音量を絞ってください。

1. モバイル機器で、曲を再生します。

本機に接続したヘッドホンやアンプ内蔵スピーカーから音が鳴ります。

メモ

曲の音量は、モバイル機器側で調節します。

ペアリング済みのモバイル機器を接続する

1. BT-DUAL の Bluetooth インジケーターがオフのとき、ペアリング・ボタンを押します。

2. モバイル機器の設定で、Bluetooth 機能をオンにします。

モバイル機器と本機が無線でつながります。

※ 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の「デバイス」欄に表示されている「TD-02 AUDIO」をタップしてください。

※ 切断するときは、BT-DUAL のペアリング・ボタンを押して Bluetooth インジケーターを消灯するか、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにします。

Bluetooth 機能を無効にする

BT-DUAL とモバイル機器の Bluetooth 接続を切るとき、Bluetooth 機能を無効にします。

1. BT-DUAL のペアリング・ボタンを押します。

Bluetooth インジケーターは消灯します。

パソコンやモバイル機器のアプリと連携して使う

パソコンのソフトウェアと連携して使う

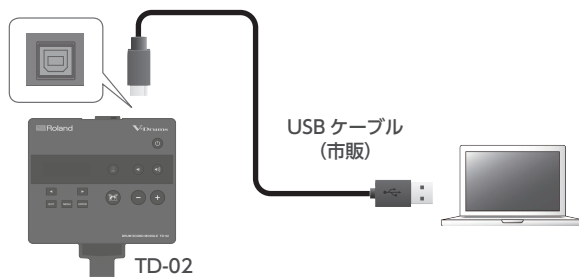
本機をパソコンと USB ケーブル（市販）で接続して、MIDI やオーディオの送受信ができます。

※ USB ケーブルは付属していません。パソコンの USB 端子は、USB2.0 Hi-Speed 対応のものをお使いください。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

USB AUDIO として音声を送受信するには、USB ドライバーのインストールが必要です。

USB ドライバーは、パソコン上の DAW などのソフトウェアと本機との間でデータをやりとりするためのソフトウェアです。



メモ

USB ドライバーのダウンロードとインストール手順については、ローランドのホームページをご覧ください。

<https://www.roland.com/jp/support/>

USB ドライバーの設定をする

本機専用の USB ドライバーと、OS 標準のドライバーを切り替えます。

→ 詳しくは、「システムの設定をする」(P.19) の「USBDrv」をご覧ください。

モバイル機器のアプリと連携して使う

スマートフォンなどモバイル機器の Bluetooth MIDI 対応アプリ（GarageBand など）と本機を接続して使うことができます。

ここでは、例として iPhone を使った設定方法を紹介します。

アプリと接続する

モバイル機器のアプリを使えるようにする設定をします。

※ アプリと接続するときは、モバイル機器の Bluetooth 設定ではなく、アプリ内の設定から接続します。

1. 本機の電源を入れます。
2. 接続したいモバイル機器を本機周辺に置きます。
3. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



※ Bluetooth オーディオに接続していると、BT-DUAL の Bluetooth インジケーターが点灯します。この時点では、アプリとの接続は完了していないためご注意ください。

4. スマートフォンのアプリを起動します。
5. アプリ内の設定から、TD-02 MIDI と接続します。

注意

モバイル機器の Bluetooth 設定に表示されている「TD-02 MIDI」をタップしないでください。

6. [D]（ドラム・キット）ボタンを押して、ドラム・キット画面に戻ります。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

詳細設定をする

パッドの感度調節や MIDI の設定、ファクトリー・リセットなど、本機の詳細設定をします。

メニュー

表示	説明	ページ
COACH	コーチ・モードで練習ができます。	P.8
PAD	本機がパッドからの信号を確実に処理するための設定をします。パッドを叩く強さと音量のバランス（感度）などを調節することができます。	P.14
MIDI	本機の MIDI の設定をします。	P.19
SYSTEM	本機の電源や音量、ディスプレイ、USB COMPUTER 端子の入出力の設定をします。	
VERSION	本機のプログラム・バージョンを表示します。	
FACTORY RESET	本機を工場出荷時の設定に戻します。	P.20

パッドの設定をする

本機がパッドからの信号を確実に処理するための設定をします。パッドを叩く強さと音量のバランス（感度）などを調節することができます。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. [◀] [▶] ボタンで「PAD」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

PAD 画面が表示されます。



3. 設定するパッドを叩きます。

[ENTER] ボタンを押しながら [◀] [▶] ボタンを押して、設定するパッドを選ぶこともできます。

4. [◀] [▶] ボタンで設定する項目（パラメーター）を選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Type	⇒ [PAD Type 一覧表] (P.15)	パッドの種類を設定します。ドラム・セットのパッドを拡張する場合／種類の異なるパッドにつなぎ替える場合に設定が必要になります。 ※ Type を設定すると、Sens や Threshold、ADVANCED (XtlkCancel を除く) のパラメーターが、Type に応じた最適値に設定されます。これらは参考値ですので、パッドの取り付けかたや使用状況に合わせて微調整してください。
Sens	1 ～ 32	パッドを叩く強さと音量のバランス（感度）を調節します。値を大きくすると感度が高くなり、パッドを弱く叩いても大きな音で鳴ります。値を小さくすると感度が低くなり、パッドを強く叩いても小さな音で鳴ります。
Threshold	0 ～ 31	パッドの最低感度（スレッシュホールド）を調節します。ある一定以上の強さで叩いたときだけ発音するように設定します。この設定で、パッドが周囲の振動を拾って誤発音することを防げます。 パッドを叩きながらスレッシュホールドの値を徐々に上げていきます。パッドを弱めに叩いて、音が欠けるようであれば少し値を下げます。これを繰り返してちょうどよい設定にします。
XStickSens	OFF、1 ～ 10	クロス・スティック音とリム・ショット音が切り替わるときの叩く強さを設定します。 値を大きくすると、より弱くリム・ショットしたときもクロス・スティックの音が鳴るようになります。 [OFF] にすると、クロス・スティック奏法のとくにもリム・ショットの音が鳴ります。 ※ リム・ショット対応のパッドでのみ、クロス・スティック奏法が可能です。
CR2Usage	CR2	ドラム・セットを拡張する場合に、専用接続ケーブルの CR2 を CR2 として使用します。
	RDB	ドラム・セットを拡張する場合に、専用接続ケーブルの CR2 を RIDE BELL として使用します。

パラメーター	設定値	説明
FootSpSens	-10 ～ +10	フット・スブラッシュの鳴りやすさを調節します。 付属のハイハット・ペダル以外を使用したときに、意図せずフット・スブラッシュが鳴る場合に調整してください。
VH Set	-	ハイハット VH-10 または VH-11 を使用する場合は、本機でオフセットの調整をします。 ハイハットのオープン、クローズやペダルの動きを正しく検出するために必要な設定です。 設定方法は、「ハイハット (VH-10 / VH-11) のオフセット調整をする」(P.16) をご覧ください。
ADVANCED	➡ 「ADVANCED の詳細設定をする」 (P.17)	パッドをより細かく調節する画面に移動します。

5. [P] (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・キット画面に戻ります。

PAD Type 一覧表

使用するパッド	Type	リム・ ショット	ベル・ ショット	チョーク 奏法
KD-A22	KDA22	-	-	-
KD-200	KD200	-	-	-
KD-180L	KD180L	-	-	-
KD-140	KD140	-	-	-
KD-120	KD120	-	-	-
KD-85	KD85	-	-	-
KD-10	KD10	-	-	-
KD-9	KD9	-	-	-
KD-8	KD8	-	-	-
KD-7	KD7	-	-	-
KT-10	KT10	-	-	-
KT-9	KT9	-	-	-
KT-1	KT1	-	-	-
PDA120L	PDA120L	✓	-	-
PDA100L	PDA100L	✓	-	-
PD-128	PD128	✓	-	-
PD-125X	PD125X	✓	-	-
PD-125	PD125	✓	-	-
PD-108	PD108	✓	-	-
PD-105X	PD105X	✓	-	-
PD-105	PD105	✓	-	-
PD-85	PD85	✓	-	-
PDX-100	PDX100	✓	-	-
PDX-12	PDX12	✓	-	-
PDX-8	PDX8	✓	-	-
PDX-6	PDX6	✓	-	-
PD-8	PD8	✓	-	✓
PD-4	PD4	-	-	-
VH-11	VH11	✓	-	✓

使用するパッド	Type	リム・ ショット	ベル・ ショット	チョーク 奏法
VH-10	VH10	✓	-	✓
CY-16R-T	CY16RT	✓	✓	✓
CY-15R	CY15R	✓	✓	✓
CY-14C-T	CY14CT	✓	-	✓
CY-14R-T	CY14RT	✓	✓	✓
CY-14C	CY14C	✓	-	✓
CY-13R	CY13R	✓	✓	✓
CY-12C-T	CY12CT	✓	-	✓
CY-12C	CY12C	✓	-	✓
CY-12R/C	CY12R/C	✓	✓	✓
CY-8	CY8	✓	-	✓
CY-5	CY5	✓	-	✓
BT-1	BT1	-	-	-
	BT1 SENS *1	-	-	-
RT-30K	RT30K	-	-	-
RT-30HR	RT30HR	✓	-	-
RT-30H	RT30H SN *2	-	-	-
	RT30H TM *3	-	-	-
RT-10K	RT10K	-	-	-
RT-10S	RT10S	✓	-	-
RT-10T	RT10T	-	-	-

*1 : BT-1 使用時に、より弱打の感度を向上させることができますが、周囲からの振動などで誤発音しやすくなります。

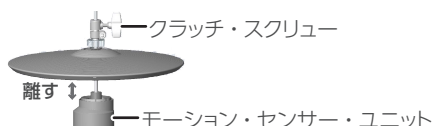
*2 : RT-30H をスネアに取り付けたときに選びます。

*3 : RT-30H をタムに取り付けたときに選びます。

詳細設定をする

ハイハット (VH-10 / VH-11) のオフセット調整をする

1. ハイハットがモーション・センサー・ユニットから完全に離れた状態で、本機の電源を入れます。



2. ハイハットのクラッチ・スクリューをゆるめ、ハイハットをモーション・センサー・ユニットの上に自然に置いた状態にします。
3. [MENU] ボタンを押します。
4. [◀] [▶] ボタンで「PAD」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
5. ハイハットを叩いて、パッドを選びます。
6. [◀] [▶] ボタンで「Type」を選び、[-] [+] ボタンでお使いのハイハット (VH-10 または VH-11) を選びます。



7. [◀] [▶] ボタンで「VH Set」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

8. 画面に「Turn screw L」と表示されている場合はオフセット調整ネジを反時計回りに、「Turn screw R」と表示されている場合は時計回りに回します。



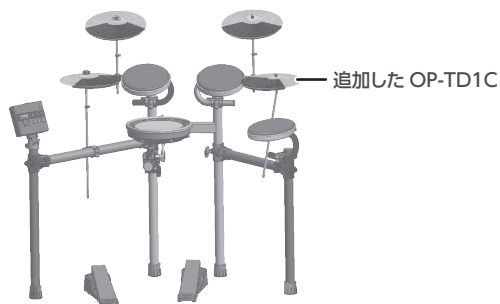
画面左下に表示されている値が 80 前後になり、「OK!」と表示されれば調整完了です。

9. ハイハットがお好みの開き具合になるように、クラッチ・スクリューをとめます。
10. [🥁] (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・キット画面に戻ります。

ドラム・セットを拡張する

クラッシュ・シンバルを追加する場合

TD-02K / TD-02KV に、別売のシンバル・セット (OP-TD1C) を「クラッシュ・シンバル 2」(CR2) として追加したセッティング例です。

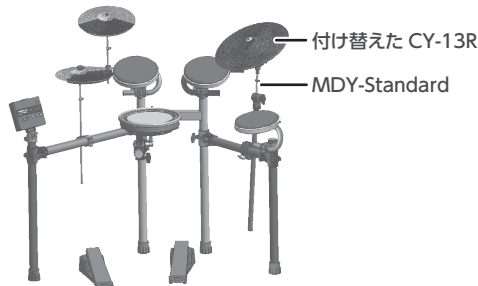


OP-TD1C の設定

1. 追加した CY-5 に、専用接続ケーブルの「CR2」を接続します。
2. CR2 の PAD Type を「CY5」に、CR2Usage を「CR2」に設定します。
→ 詳しくは「パッドの設定をする」(P.14) をご覧ください。これで設定は完了です。

ライド・シンバル (CY-5) を CY-13R に代える場合

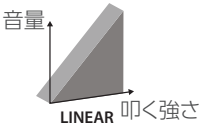
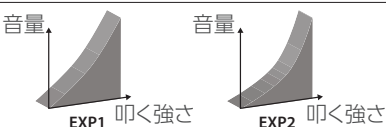
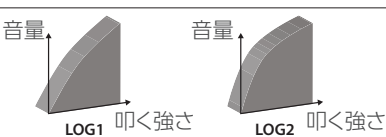
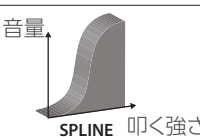
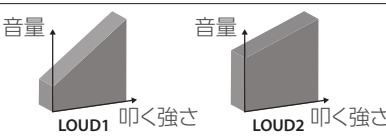
TD-02K / TD-02KV で、ライド・シンバル (CY-5) を別売の CY-13R に代え、シンバル・マウント (MDY-Standard) を使用したセッティング例です。



RIDE (CY-13R) の設定

1. CY-13R の BOW/EDGE OUTPUT 端子に専用接続ケーブルの「RD」、BELL OUTPUT 端子に専用接続ケーブルの「CR2」を接続します。
2. RD の PAD Type を「CY13R」に、CR2Usage を「RDB」に設定します。
→ 詳しくは「パッドの設定をする」(P.14) をご覧ください。これで設定は完了です。

ADVANCED の詳細設定をする

パラメーター	設定値	説明
Curve	パッドの叩く強さに対する音量変化	
	LINEAR	 標準的な設定です。叩く強さと音量の変化が最も自然になります。
	EXP1、EXP2	 「LINEAR」に比べ、強めに叩くときの音量変化が大きくなります。
	LOG1、LOG2	 「LINEAR」に比べ、弱めに叩くときの音量変化が大きくなります。
	SPLINE	 叩く強さによる音量変化が極端につきます。
	LOUD1、LOUD2	 叩く強さによる音量変化が少なく、演奏しやすい音量が保てます。ドラム・トリガーを利用するときなど、安定した発音が得られます。
RimGain *1	0 ～ 3.2	リムやエッジを叩く強さと音の大きさのバランスを調節します。 値を大きくすると、リムを弱く叩いても大きな音量で鳴ります。値を小さくすると、リムを強く叩いても小さな音量で鳴ります。
H/R Adjust *1	0 ～ 80	ヘッド・ショットとリム・ショットの鳴りやすさ ヘッド・ショットをしたときにリムの音が鳴ってしまう場合は、値を大きくします。 リム・ショットをしたときにヘッドの音が鳴ってしまう場合は、値を小さくします。 メモ ヘッド・ショットをしたときにリム・ショットの音が鳴る場合や、リム・ショットをしたときにヘッド・ショットの音が鳴る場合は、H/R Adjust の値を少しずつ変更し、効果を確認しながら値を設定してください。 極端な値に設定すると、ヘッド・ショット時にリム・ショットの音が出るなど、演奏とは異なる音が鳴ってしまいます。

*1：PAD Type によっては設定できません。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

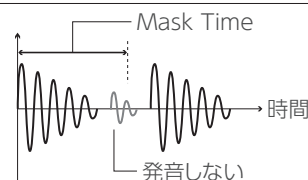
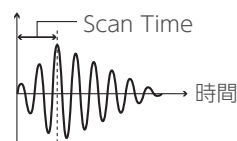
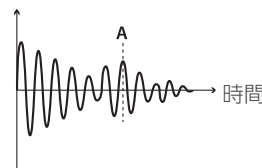
Español

Português

Nederlands

詳細設定をする

パラメーター	設定値	説明
Retrg Cancel	1 ~ 16	トリガー信号の減衰検出（リトリガー・キャンセル） 市販のドラム・トリガーを取り付けたスネア・ドラムなどを叩いたときに、波形が乱れているため次の図の A 点でも誤って発音してしまうことがあります（リトリガー）。 この現象は特に波形の消え際で起こりやすいものです。リトリガー・キャンセルは、この波形の乱れを検出して、リトリガーが起こらないようにします。 パッドを叩きながら、リトリガーしなくなるまでリトリガー・キャンセルの値を上げます。 値を大きくするとリトリガーしなくなりますが、速く連打したときに音が抜けやすくなります。リトリガーが起こらないことを確認しながら、できるだけ小さい値に設定してください。 メモ マスク・タイムでもこのような 2 度鳴りの症状が出ないようにすることができます。マスク・タイムがトリガー信号を受信してから設定した時間内は次のトリガー信号を検出しなくなるのに対して、リトリガー・キャンセルはトリガー信号レベルの減衰を検出し、打撃されたときのトリガー信号か、鳴らす必要のないトリガー信号かを判別します。
XtlkCancel	0 ~ 80	同じスタンドにパッド（またはドラム・トリガーを取り付けたアコースティック・ドラム）を複数取り付けたとき、叩いた振動で、他のパッド（またはドラム・トリガー）が誤発音（クロストーク）するのを防ぎます。たとえば、パッド A を叩いたときにパッド B が誤発音してしまうときは、パッド B の XtlkCancel 値を大きくして、クロストークがなくなるように調節します。値をあまり大きくすると、パッド A とパッド B を同時に叩いたときに、パッド B の音が抜けやすくなります。
ScanTime	0 ~ 4.0ms	トリガー信号の検出時間（スキャン・タイム） ドラム・パッドの種類やドラム・トリガー固有の性質により、トリガー信号波形の立ち上がり時間が微妙に異なるため、同じ強さで叩いても弱く鳴ったり、強く鳴ったりすることがあります。このような場合に、トリガー信号の検出時間（スキャン・タイム）を調節することで、叩いた強さを正確に検出することができます。 パッドを同じ強さで叩きながらスキャン・タイムの値を「0」から徐々に上げていき、一番大きな音量で安定して発音する値にします。その値で強弱をつけてパッドを叩き、適切な音量変化が得られることも確認してください。 ※ 値を大きくすると発音までの時間が長くなります。できるだけ小さい値に設定してください。
MaskTime	0 ~ 64ms	2 度鳴りの防止（マスク・タイム） 特にキック・トリガーで、鳴らした直後に再度ビーターがヘッドに触れると、ダブル・トリガー（1 度鳴らすつもりなのに 2 度鳴ってしまう）の原因になります。マスク・タイムはこれを防ぐための機能で、設定した時間内に再度起こったトリガー信号を無視します。 パッドを叩きながらマスク・タイムの値を調節します。 キック・トリガーの場合はキック・ペダルを踏みながら、バウンシング（ビーターの跳ね返りによる発音）しなくなるまでマスク・タイムの値を上げます。 値を大きくすると、速く連打したときに音が抜けやすくなります。できるだけ小さい値に設定してください。 メモ パッドを 1 度しか叩いていないのに 2 度以上音が鳴ってしまうときは、リトリガー・キャンセルを調節してください。



MIDI の設定をする

本機の MIDI の設定をします。

1. **[MENU]** ボタンを押します。
2. **[◀] [▶]** ボタンで「MIDI」を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. **[◀] [▶]** ボタンで設定したい項目（パラメーター）を選び、値を **[-] [+]** ボタンで変更します。

パラメーター	設定値	説明
Channel	1 ~ 16Ch	送受信チャンネル
Tx/Rx Sw	OFF、 ON	MIDI データ送受信のオン/オフ
ProgChg Tx	OFF、 ON	プログラム・チェンジの送信の オン/オフ
ProgChg Rx	OFF、 ON	プログラム・チェンジの受信の オン/オフ
Local Ctrl	OFF、 ON	パッドの演奏情報を本機の音 源部に送る (ON) / 送らない (OFF) を設定します。 通常は「ON」にしておきます。 「OFF」にすると、パッドの演 奏情報は本機の音源部に接続さ れません。
Choke Shot	OFF、 ON	チョークしながらパッドを打撃する 奏法をしたときの設定をします。 「ON」のときは、チョークしながら 打撃すると発音後すぐにミュートさ れます。「OFF」のときは、チョー クしながら打撃しても、発音後す ぐにはミュートされません。
Device ID	17 ~ 32	デバイス ID の設定 この設定は、2 台以上の TD-02 に別々のデータを同時に送信す るときにだけ必要な設定です。 それ以外の場合は、設定を変更 しないでください。
TxEidtData	OFF、 ON	本体の設定変更を、システム・ エクスクルーシブ・メッセージと して送信する (ON) / 送信しな い (OFF) を設定します。
SysEx Rx	OFF、 ON	システム・エクスクルーシブ・メッ セージを受信する (ON) / 受 信しない (OFF) を設定します。
NOTE NO.	-	パッドを叩いたときに送受信する MIDI ノート・ナンバーの設定を します。

4. **[🥁]** (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・
キット画面に戻ります。

システムの設定をする

本機の電源や音量、ディスプレイ、USB COMPUTER 端
子の入出力の設定をします。

1. **[MENU]** ボタンを押します。
2. **[◀] [▶]** ボタンで「SYSTEM」を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. **[◀] [▶]** ボタンで設定したい項目（パラメーター）を選び、値を **[-] [+]** ボタンで変更
します。

パラメーター	設定値	説明
LCDContrast	1 ~ 16	ディスプレイの明るさを調節し ます。
USB In	-36 ~ +12dB	USB COMPUTER 端子に入 力される、USB オーディオの 入力レベルを調節します。
USB Out	-24 ~ +24dB	USB COMPUTER 端子から 出力される、USB オーディオ の出力レベルを調節します。
USBDrv	GENERIC、 VENDOR	USB ドライバーのモードを変更し ます。OS 標準のドライバを使用 する場合は「GENERIC」、ロー ランドが提供している本機専用 のドライバを使用する場合は、 「VENDOR」に設定します。 ※ 設定値を変更し、本機の電源を 入れ直すと有効になります。
Earplugs	OFF、ON	「ON」にすると、ドラム演奏の 音量が小さくなります。お子様 が使用するときなど、大きな音 量で耳を痛めないように気を付 けたい場合は、「ON」にしてお くことをお勧めします。
BT ID	OFF、 1~99	Bluetooth 接続したアプリに表 示される、本機のデバイス名末 尾の文字を設定します。 同じ楽器を複数お持ちの場合 に識別することができます。 ※ 設定値を変更し、本機の電源を 入れ直すと有効になります。
AutoOff	OFF、 10MINS、 30MINS、 4HOURS	設定した時間 (10 分 / 30 分 / 4 時間) 以内にパッドを叩かなか ったり何も操作をしなかったりす ると、自動的に電源が切れます。 「OFF」に設定すると、電源は 自動的に切れません。

4. **[🥁]** (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・
キット画面に戻ります。

詳細設定をする

バージョン情報を表示させる

本機のプログラム・バージョンを表示します。
新しいシステム・プログラムが公開された場合は、アップデートすることができます。詳細は以下の URL からご覧ください。

<https://www.roland.com/jp/support/>

製品名入力 → 「アップデーター&ドライバー」の項目をご覧ください。

1. **[MENU]** ボタンを押します。
2. **[◀] [▶]** ボタンで「VERSION」を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
本機のバージョン情報が表示されます。
3. **[F1]** (ドラム・キット) ボタンを押して、ドラム・キット画面に戻ります。

工場出荷時の設定に戻す

本機に記憶されている設定を、工場出荷時の状態に戻します。これを「ファクトリー・リセット」と呼びます。

注意

ファクトリー・リセットを実行すると、本機に記憶されている設定はすべて消去されます。

BT-DUAL が ON の状態でファクトリー・リセットを実行した場合、登録されたモバイル機器の情報が削除されます。Bluetooth 無線接続をする場合は、再度モバイル機器を登録してください (P.11)。

1. **[MENU]** ボタンを押します。
2. **[◀] [▶]** ボタンで「FACTORY RESET」を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



Sure? CANCEL/OK
[EXIT] / [ENTER]

中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

3. **[ENTER]** ボタンを押します。
ファクトリー・リセットが完了すると、「Completed!」と表示されます。



Completed!

ドラム・キット・リスト

No.	Kit Name
1	Acoustic Jam
2	Home Studio
3	Big Rock
4	Rock Star
5	Classic Rock
6	Metal Beast
7	Funky
8	Funk Soul
9	Jazz Lounge
10	Jazz Legend
11	Pop Club
12	Hyper Attack
13	Stadium
14	House Party
15	Electronic
16	Percussion

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

故障かな?と思ったら

症状	確認事項	対策	ページ
音に関するトラブル			
音が出ない／音が小さい	本機とアンプ内蔵スピーカー／ヘッドホン を正しく接続していますか？	アンプ内蔵スピーカーやヘッドホンは、本機の OUTPUT/PHONES 端子に接続してください。 アンプ内蔵スピーカーを接続する場合は、アンプ 内蔵スピーカーの入力端子に接続してください。	P.6 -
	本機背面の TRIGGER INPUT 端子に専 用接続ケーブルが正しく接続されていま すか？	接続を確認してください。	『セットアッ プ・ガイド』
	ヘッドホンまたはアンプ内蔵スピーカーの オーディオ・ケーブルが断線していません か？	ケーブルを交換してください。	-
	接続しているアンプ内蔵スピーカーから 音が出ない場合、ヘッドホンをつなぐと音 が出ていますか？	音が出るようであれば、アンプ内蔵スピーカ ーの接続ケーブルが断線しているか、接続して いるアンプ内蔵スピーカーに原因があります。接 続している機器やケーブルを確認してください。	-
	本機の音量が下がっていませんか？	適正なレベルに調節してください。	-
	接続しているアンプ内蔵スピーカーの音 量が下がっていませんか？		
	MIX IN 端子や Bluetooth 接続したモバ イル機器の音量が下がっていませんか？		
特定のパッドの音が出 ない	各パッドにケーブルが正しく接続されてい ますか？	各パッドに対応したラベルのあるケーブルを接 続してください。	『セットアッ プ・ガイド』
	パッドの感度が下がっていませんか？	パッドの感度 (Sens) を調節してください。	P.14
	パッドを拡張した場合や種類の異なるパ ッドにつなぎ替えた場合は、パッドの種類が 正しく設定されていますか？	パッドの種類 (Type) を設定してください。	
キック・ペダルを踏ん でも音が出ない	キック・パッドに KIK のラベルのあるケー ブルが接続されていますか？	接続を確認してください。	『セットアッ プ・ガイド』
ハイハット・ペダルを 踏んでも音が出ない	ハイハット・ペダルに HHC のラベルのあ るケーブルが接続されていますか？		
パッドを叩くと、他の パッドの音も鳴ってしま う	同じスタンドに複数のパッドを取り付け ると、叩いた振動が他のパッドにも伝わり、 誤発音することがあります。	以下の点に注意し、取り付け位置を変更して ください。 - パッド同士がぶつからないように、距離を離し てセッティングする - パッドの取り付けノブをしっかりと締め付けて、 スタンドに取り付ける モニター・スピーカーからの音の影響で誤発音 してしまう場合があります。 - パッドをスピーカーから離して設置する - パッドに角度を付けて、音の影響を受けにく い場所にセッティングする - パッドの最低感度 (Threshold) の値を大き くする (P.14)	-
1 度叩くと、2 回以上 音が鳴る	スタンドにしっかりと固定していますか？	パッドをスタンドにしっかりと固定してくださ い。また、RetrigCancel を設定してください。	P.18
音の鳴りかたが不安定	スネアとタムのメッシュ・ヘッド (TD-02KV のスネア) は均一に張られていますか？	メッシュ・ヘッド (TD-02KV のスネア) の張り 具合を調節してください。パッドのチューニング・ ボルトをドラム・キーで調節します。張りをやや 強くすると鳴りかたが安定します。	『セットアッ プ・ガイド』

USB に関するトラブル			
パソコンと接続できない	USB ケーブルは正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.13
	USB AUDIO として音声を送受信するには、USB ドライバーのインストールが必要です。	パソコンに USB ドライバーをインストールしてください。	P.13
	USB 2.0 対応のケーブルを使用していますか?	USB 3.0 対応のケーブルは使用できません。USB 2.0 対応のケーブルを使用してください。	-
	Driver Mode は正しく設定されていますか?	使いかたに応じて変更してください。	P.19
MIDI に関するトラブル			
外部 MIDI 機器の音が出ない	MIDI チャンネルは合っていますか?	本機とMIDI機器のチャンネルを合わせてください。	P.19
	ノート・ナンバーは合っていますか?	パッドのノート・ナンバーを確認してください。	P.19

Bluetooth 機能に関するトラブル

症状	確認事項／対策		ページ
モバイル機器の Bluetooth デバイス欄に、「TD-02」が表示されない	Bluetooth 機能が無効になっていませんか?	BT-DUAL のペアリング・ボタンを押すと、Bluetooth 機能が有効になります。 Bluetooth オーディオ： 「TD-02 AUDIO」というデバイスが現れます。 アプリに接続： 「TD-02 MIDI」というデバイスが現れます。Bluetooth MIDI 対応のアプリ (GarageBand など) のアプリ内の設定から確認できます。	-
Bluetooth オーディオに接続できない	モバイル機器の Bluetooth デバイス欄に「TD-02 AUDIO」が表示されている場合	モバイル機器の Bluetooth 設定で、デバイス「TD-02 AUDIO」の登録を一時的に解除してから、Bluetooth 機能をオフ → オンし、ペアリングし直してください。	-
	モバイル機器の Bluetooth デバイス欄に「TD-02 AUDIO」が表示されていない場合	モバイル機器の Bluetooth 機能をオフ → オンしてから、本機からペアリングを開始し、ペアリングし直してください。	-
アプリに接続できない	モバイル機器に登録されている「TD-02 MIDI」を解除してから、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフ → オンし、アプリ内の設定から接続してください。		-
モバイル機器の Bluetooth 設定画面に表示された「TD-02 MIDI」をタップしたが、アプリと接続できない	モバイル機器の Bluetooth 設定ではなく、アプリ内の設定から接続してください。		-
BT-DUAL のペアリング・ボタンを押したが、アプリに接続できない	BT-DUAL のペアリング・ボタンを押しただけでは接続できません。 モバイル機器の Bluetooth 設定で、Bluetooth 機能をオンにしてから、アプリ内の設定で接続してください。		-
ペアリングしたモバイル機器がつかない	接続してもすぐに切れてしまうときは、モバイル機器の Bluetooth スイッチを一時的にオフにし再度オンにすると、接続される場合があります。		-
スマートフォンと複数台ある中の TD-02 をペアリングできない	TD-02 が複数台ある場所でスマートフォンとペアリングする場合は、各機器に ID (識別番号) を設定することができます。BT ID を設定すると、スマートフォンに表示されるデバイス名の末尾に設定した数字が付きます。(例:「TD-02 AUDIO 1」「TD-02 MIDI 1」など)	[MENU] → [◀] [▶] [SYSTEM] → [ENTER] → [◀] [▶] [BT ID] → [✖] (DRUM KIT) ※ BT ID は、設定値を変更し、TD-02 の電源を入れ直すと有効になります。	-

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

警告

オート・オフ機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オート・オフ機能）。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください（P.19）。

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。

警告

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- 取りはずしが可能な部品

Bluetooth ADAPTOR 端子のカバー、ネジ、BT-DUAL のキャップ、BT-DUAL 取り付けネジ

使用上のご注意

電源について

- AC アダプターは、文字が表示された面が下になるように設置してください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お問い合わせ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はメモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通じての振動は意外によく伝わります。特にヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がからないように注意しましょう。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- **Bluetooth®** のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。
Copyright © 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved. Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>
- Roland、V-Drums は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

主な仕様

ドラム・キット数	16
ディスプレイ	16文字2行キャラクターLCD (バックライト付き)
電源	ACアダプター (DC12V)
消費電流	200mA
外形寸法	145 (幅) × 34 (奥行) × 165 (高さ) mm
質量 (AC アダプターを除く)	320g
付属品	セットアップ・ガイド 「安全上のご注意」 チラシ AC アダプター 専用接続ケーブル ドラム・キー 保証書
別売品	追加クラッシュ・シンバル (クラッシュ 2) : OP-TD1C パーソナル・ドラム・モニター : PM シリーズ Vドラム・アクセサリ・パッケージ : DAP-2X Vドラム・マット : TDM シリーズ ノイズ・イーター : NE シリーズ スネア (TD-02K 用) : PDX-6、PDX-8* キック : KD シリーズ Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor (品番 BT-DUAL) * TD-02K に PDX-6、PDX-8 を取り付けるには、MDH-Standard が必要です。

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

注意

本機自体には、**Bluetooth®** 機能は搭載されていません。BOSS **Bluetooth®** Audio MIDI Dual Adaptor (BT-DUAL) を取り付けることで、Bluetooth 機能を使用することができます。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品 (電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど)

https://roland.cm/roland_support



プロAV製品 (ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など)

https://roland.cm/proav_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



'22. 02. 01 現在

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川2036-1

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands